

政権 日米同盟強化を前面

若者ら 違憲追及あきらめず

安保法成立7ヵ月

他国を武力で守る集団的自衛権の行使容認を柱とする安全保障関連法の成立から十九日で七ヵ月。安倍政権は、安保法が三月二十九日に施行されたことを受け、日米同盟を強化する姿勢を鮮明にした。これに対し、若者らは安保法の廃止に向けて粘り強く取り組む決意を新たにしている。

(篠ヶ瀬祐司、安藤美由紀)

安倍晋三首相は二十九日の参院予算委員会で「(日米が)お互いに助け合える同盟に変わった。安保法を廃止すれば、日米同盟の絆は大きく毀損される」と主張。三十一日、訪問先のワ

シントンでの日米韓首脳会談では「安保分野における三方国の協力を目に見える形で具体的に進めていくことが重要だ」と強調した。また、自民、公明両党は三十日の幹部会合で、野党

が共同提出した安保法廃止法案を今国会で審議しない方針を決めた。六月一日の会期末まで、この時点で二ヵ月を残しての判断だ。

一方、SEALDs(自由と民主主義のための学生緊急行動、シールズ)は施行直前の二十八日夜、国会前で集会を開き、「首相の安保法に関する説明は不十分だ」などと訴えた。

高校生らのグループ「ティーンズソウル」も今月十五日に記者会見し、同二十九日から毎週金曜日に国会

前で抗議行動を行うと宣言した。中心メンバーの福田龍紀さん(ひし)は「(政府が)立憲主義を壊したことを、あきらめずに追及する。それが自分たちの将来を自分たちの手で作り上げていくために必要だ」と語った。

9.19を忘れない 安全保障関連法をめぐる最近1ヵ月の動き

政 政府 民 市民 地 地方 国 国会 外 海外

- 2016年3月20日 **地** 安保法廃止を訴える「市民連合」が、衆院北海道5区補選で野党統一候補の推薦を決定
- 22日 **政** 政府が、安保法の施行日を29日とする政令を閣議決定
- 27日 **民** 「平和な未来をつむぐ高校生の会」が都内で初の平和集会。安保法廃止を訴え、デモ行進
- 29日 **政** **安保法が施行**。前日から市民が抗議=写真⑤
- 29日 **国** 首相が参院予算委員会で「安保法を廃止すれば日米同盟の絆は毀損(きそん)される」と答弁
- 30日 **国** 与党が、野党提出の安保法廃止法案を今国会で審議しない方針を決める
- 31日 **外** 首相がワシントンでの日米韓首脳会談で「**安全保障分野の協力を、目に見える形で進めることが重要**」と表明=写真⑥
- 4月15日 **民** 高校生グループ「ティーンズソウル」が、29日から**安保法廃止に向けて毎週金曜日に行動**すると発表
- 19日 **民** 総がかり行動実行委員会が午後6時30分から、衆院第2議員会館前で「毎月19日行動」(予定)

